

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
220311032	解剖生理学 Anatomical and Physiology	内田 友乃		専門	2	必修	1年前期

科目の概要

ヒトの体の構造を知ることは、管理栄養士を目指す学生にとって非常に重要なことであり、今後専門科目を学ぶ際の基本となる。解剖生理学では、人体がどのような細胞、組織、器官(臓器)によって構成されているのかを学修する。単に細胞や組織名、器官名を記憶するだけではなく、各器官のおおまかな役割を理解することを目的とする。また分野によっては、生理学的な内容も学修し、各器官系のはたらきも理解する。

学修内容	到達目標
ヒトの体の構造を学修する。 各器官を構成する組織・細胞を学修する。 各器官の場所・名称を学修する。 各器官のはたらきを学修する。	細胞や組織の形態の特徴とはたらきを記憶し、人に説明できる。 各器官の場所および名称を記憶し、説明できる。 各器官の構造を記憶し、人に説明できる。 各器官のはたらきを記憶し、人に説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業内容の理解のために、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることができる。予習や授業時間に疑問点を見つけ、自ら解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	予習や復習を自身のやり方や計画に沿って進められる。
考え抜く力	課題発見力	予習や授業時間内に疑問点を探し、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることで知識として蓄積させることができる。
	計画力	
	創造力	授業内容を理解し、その理解度を図る演習問題を作成することができる。
チームで働く力	発信力	グループワークで自身の意見をきちんと発信できる。自身が作成した演習問題の解説が人に対してできる。ワークシートを他人に対して分かりやすく記述することができる。
	傾聴力	グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。他者に疑問点を質問することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。授業後テストの復習に授業後すぐに取り組むことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

他科目との関連、資格との関連

「解剖生理学」や「解剖生理学実習」に繋がる科目である。今後履修する「基礎栄養学」「臨床医学」「臨床栄養学」等の基礎となる。

関連する資格：栄養士、管理栄養士、食品衛生監視員、健康運動実践指導者、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
中学の理科、高校の生物基礎や基本的な化学の知識が必要となる。特に生物基礎の「生物の特徴」「遺伝子とその働き」「生物の体内環境」のところは復習しておくこと。 予習・復習は必ず行うこと。覚えることが多いため、図を上手く利用しながら、絵をしっかりと記憶すること。	授業で配布する資料は、出席者のみに配布します。 予習と復習を必ず行い、提出物は毎時間初めに提出すること。 毎時間復習テストを実施するため、復習をしっかりとすること。 携帯電話等は音が鳴らないようにし、カバンにしまっておくこと。 私語は他の受講者に迷惑を掛けるため慎むこと。 私語が多い者は退室してもらうこともある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験 筆記(レポート含む)・ 実技・口述試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだ基本的な知識が身についているかを重視する。 ・特に授業中に説明したキーワードが理解できているかを確認する(キーワードの穴埋め、文章の訂正、キーワードの説明をする記述式問題等)。 ・以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	小テスト	20	①	✓	授業の理解度を確認するために、毎回、予習テストと復習テストを実施する。テストでは、授業で学んだ基本的な知識が身についているかを確認する。
			②	✓	
			③	✓	
			④	✓	
			⑤		
	レポート		①		
			②		
			③		
			④		
			⑤		
平常評価 成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに理解度を図る演習問題をグループで作成する。問題の内容やその解説を評価に加える。出題の基準に準じているか、文言に誤りはないか、文章に矛盾はないか、正しい内容かつ分かりやすい解説であるかを評価する。 	
		②	✓		
		③	✓		
		④			
		⑤			
学修行動 社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 主体性：予習や授業時に疑問点を見つけ、参考書等を使って自己学修をする。 実行力：予習や復習を自身の計画に沿って進める。 課題発見力：予習および授業内で疑問点を見つけ、それを自身で解決する。 創造力：授業内容を理解し、それに沿って演習問題を作成する。 発信力：グループでの演習問題作成に積極的に参加し、他者に問題の解説を分かりやすく説明する。ワークシートを他人に対して分かりやすく記述することができる。 傾聴力：グループワークで互いの意見を聴きあい、他者に疑問点を質問する。 規律性：提出物を期限内に提出することができる。毎時間ごと提出のワークシート等を漏れなく記入する。 	
		②	✓		
		③	✓		
		④			
		⑤			
総合評価 割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
各器官の役割、はたらきのメカニズムおよび各器官の連携についてしっかりと記憶・理解している。特に、血糖値や血圧などのさまざまな調節機構を自分の言葉で論理的に説明することができる。講義内で得た知識を元に、その理解度を図る演習問題を作成し、その解説を自分の言葉で他者に説明することができる。上記を筆記試験、小テスト、ワークシート等および社会人基礎力で総合的に評価し、特に優れているものをS(秀)、優れている場合をA(優)とする。	細胞や組織の形態の特徴とはたらき、各器官の名称・構造・はたらきについての重要なキーワードを記憶している。また、各器官の場所やはたらき、特徴をある程度自分の言葉で説明することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	人体の階層性 人体が何からできているのか、細胞と細胞内小器官の形とはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	細胞の仕組みと細胞内小器官の形の名称、はたらきについての重要なキーワードを記憶する。	(予習)教科書p.1~9を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	人体の階層性 組織、臓器、器官の構成とはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	組織の種類と形態を記憶する。 機能を持つ組織集合体とである臓器、器官の名称と場所を記憶する。	(予習)教科書p.10~16を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	骨格系 骨の内部構造と形状と人体の主要な骨と関節について学修	講義 予習 & 復習テスト	骨の形状や内部構造を記憶する。 骨と関節の名称を記憶し、各関節が体のどの部分をどのように動かすかを理解する。	(予習)教科書p.22~28を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	骨格系 主要な骨と関節について学修	講義 予習 & 復習テスト	骨と関節の名称を記憶し、各関節が体のどの部分をどのように動かすかを理解する。	(予習)教科書p.28~42を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	筋系 筋肉の種類と人体の主要な筋肉を学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	筋肉の種類を記憶する。 筋肉の名称を記憶し、体のどの部分をどのように動かすものかを理解する。	(予習)教科書p.43~52を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	筋系 人体の主要な筋肉を学修 筋収縮の仕組みと神経との接合について学修	講義 予習 & 復習テスト	筋肉の名称を記憶し、体のどの部分をどのように動かすかを理解する。 筋収縮のメカニズムを理解する。	(予習)教科書p.52~61を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	循環器系 心臓の構造と全身の血管の種類や特徴を学修	講義 予習 & 復習テスト	循環器系を構成する器官の名称と場所を記憶する。心臓の構造を記憶する。全身を走行する血管の名称を記憶し、体のどの部分に存在するか解る。	(予習)教科書p.136~145を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	リンパ系と血液の構成 リンパ系の構成と血液中の成分を学修	講義 予習 & 復習テスト	リンパ系の構成を記憶する。 血液中の細胞成分形態の特徴を記憶し、はたらきを理解する。	(予習)教科書p.126~132、152~154を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	呼吸器系 呼吸器系を構成する器官とその構造を学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	呼吸器系を構成する器官の名称を記憶し、その微細構造やはたらきを理解する。	(予習)教科書 p.164~172を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	消化器系 消化官の構造とはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	消化器系を構成する器官の名称と場所を記憶する。 消化管の構造と部位による構造の違いを理解する。	(予習)教科書 p.177~194を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	消化器系 肝臓、膵臓、胆嚢の構造とはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	肝臓、膵臓、胆嚢の構造を記憶し、それらはたらきを理解する。	(予習)教科書 p.196~202を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	泌尿器系 泌尿器系を構成する各器官を学修	講義 予習 & 復習テスト	泌尿器系を構成する器官の名称と場所を記憶する。 腎臓の微細構造を記憶し、尿の生成や尿路系の構成とはたらきを理解する。	(予習)教科書 p.212~217を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	生殖器系 男性・女性の生殖器を学修	講義 予習 & 復習テスト	男性と女性の生殖器系を構成する器官の名称と場所を記憶する。 それらの微細構造やはたらきを理解する。	(予習)教科書 p.225~235を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	内分泌系 内分泌器官と分泌されるホルモンおよびそのはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	種々の内分泌器官の場所を覚える。 ホルモンの分類を覚える。	(予習)教科書 p.107~120を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	内分泌系 内分泌器官と分泌されるホルモンおよびそのはたらきを学修 ホルモンによる様々な調節機構について学修する 作成した演習問題の解説をグループで発表	講義 予習 & 復習テスト グループ発表	各種ホルモンの名称と分泌器官そのはたらきを覚える。 ホルモンによる体内の調節機構を理解する。 グループで作成した演習問題の解説を発表する。	(予習)教科書 p.120~124を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
220312033	解剖生理学 Anatomical and Physiology	内田 友乃		専門	2	必修	1年後期

科目の概要

「解剖生理学」で学修した、人体を構成する細胞、組織、器官(臓器)の知識を基に、それぞれの器官系のはたらくメカニズムを学修する。ヒトの体は、自律神経系や内分泌系によって、循環器系や体温調節、血糖調節など、ホメオスタシスの維持がなされている。その調節のしくみを理解し、今後医学的な知識を習得する際に基礎となる力を育成することを目的とする。

学修内容	到達目標
各器官の役割を学修する。 各器官がはたらくメカニズムを学修する。 各器官の連携を学修する。	各器官の役割を記憶し、人に説明できる。 各器官がはたらくメカニズムを記憶し、人に説明できる。 各器官の連携を記憶し、人に説明できる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業内容の理解のために、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることができる。予習や授業時間に疑問点を見つけ、自ら解決することができる。
	働きかけ力	
	実行力	予習や復習を自身のやり方や計画に沿って進められる。
考え抜く力	課題発見力	予習や授業時間内に疑問点を探し、授業時間外に教科書や参考書等を使って自己学修をすることで知識として蓄積させることができる。
	計画力	
	創造力	授業内容を理解し、その理解度を図る演習問題を作成することができる。
チームで働く力	発信力	グループワークで自身の意見をきちんと発信できる。自身が作成した演習問題の解説が人に対してできる。ワークシートを他人に対して分かりやすく記述することができる。
	傾聴力	グループワークで互いの意見を聴きあうことができる。他者に疑問点を質問することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。提出物は期限内に提出することができる。授業後テストの復習に授業後すぐに取り組むことができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：ぜんぶわかる人体解剖図 著：坂井建雄、橋本尚詞 成美堂出版
エキスパート管理栄養士養成シリーズ 解剖生理学 高野康夫編 化学同人
必要に応じて、補足のプリントを配布することもある。

他科目との関連、資格との関連

「解剖生理学実習」に繋がる科目である。今後履修する「基礎栄養学」「臨床医学」「臨床栄養学」等の基礎となる。

関連する資格：栄養士、管理栄養士、食品衛生監視員、健康運動実践指導者、栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
前期で学んだ「解剖生理学」をきちんと把握しておく必要がある。その他、中学の理科、高校の生物基礎や基本的な化学の知識が必要となる。予習・復習を必ず行うこと。理解をして覚えることを意識し、他人に説明して理解を深めると良い。	授業で配布する資料は、出席者のみに配布します。 予習と復習を必ず行い、提出物は毎時間初めに提出すること。 毎時間復習テストを実施するため、復習をしっかりとすること。 携帯電話等は音が鳴らないようにし、カバンにしまっておくこと。 私語は他の受講者に迷惑を掛けるため慎むこと。 私語が多い者は退室してもらうこともある。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記(レポート含む)・ 実技・口述試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学んだ基本的な知識が身についているかを重視する。 ・特に授業中に説明したキーワードが理解できているかを確認する(キーワードの穴埋め、文章の訂正、キーワードの説明をする記述式問題等)。 ・以上の内容の筆記試験で60%以上の得点を合格とする。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	20	①	✓	授業の理解度を確認するために、毎回、予習テストと復習テストを実施する。テストでは、授業で学んだ基本的な知識が身についているかを確認する。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
		レポート			①		
					②		
					③		
					④		
					⑤		
成果発表 (プレゼンテーション・作品制作等)	10		①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに理解度を図る演習問題をグループで作成する。問題の内容やその解説を評価に加える。出題の基準に準じているか、文言に誤りはないか、文章に矛盾はないか、正しい内容かつ分かりやすい解説であるかを評価する。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 主体性：予習や授業時に疑問点を見つけ、参考書等を使って自己学修をする。 実行力：予習や復習を自身の計画に沿って進める。 課題発見力：予習および授業内で疑問点を見つけ、それを自身で解決する。 創造力：授業内容を理解し、それに沿って演習問題を作成する。 発信力：グループでの演習問題作成に積極的に参加し、他者に問題の解説を分かりやすく説明する。ワークシートを他人に対して分かりやすく記述することができる。 傾聴力：グループワークで互いの意見を聴きあい、他者に疑問点を質問する。 規律性：提出物を期限に提出することができる。毎時間ごと提出のワークシート等を漏れなく記入する。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
			⑤				
総合評価 割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
各器官の役割、はたらきのメカニズムおよび各器官の連携についてしっかりと記憶・理解している。特に、血糖値や血圧などのさまざまな調節機構を自分の言葉で論理的に説明することができる。講義内で得た知識を元に、その理解度を図る演習問題を作成し、その解説を自分の言葉で他者に説明することができる。上記を筆記試験、小テスト、ワークシート等および社会人基礎力で総合的に評価し、特に優れているものをS(秀)、優れている場合をA(優)とする。	細胞や組織の形態の特徴とはたらき、各器官の名称・構造・はたらきについての重要なキーワードを記憶している。また、各器官の場所やはたらき、特徴をある程度自分の言葉で説明することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	神経細胞と興奮 神経細胞の興奮と神経線維内を信号が伝わる仕組みを学修	講義 予習 & 復習テスト	神経細胞が興奮する仕組みを覚える。	(予習)教科書p.62~70を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	中枢神経系 脳神経と脊髄神経の配置および機能の局在を学修	講義 予習 & 復習テスト	脳神経と脊髄神経の名称と機能局在を覚える。	(予習)教科書p.70~75を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	末梢神経系 知覚神経と運動神経の走行と自律神経のはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	知覚神経と運動神経の走行と主な枝の名前と支配領域を覚える。 自律神経の両神経支配を理解する。	(予習)教科書p.76~84を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	感覚器系 皮膚の構造と体性感覚を学修	講義 予習 & 復習テスト	皮膚の構造と体性感覚の受容器を記憶する。	(予習)教科書p.17~21、85~92を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	感覚器系 特殊感覚(視覚、聴覚、平衡感覚、味覚、嗅覚)のメカニズムを学修	講義 予習 & 復習テスト	視覚、聴覚、平衡感覚のメカニズムを理解する。 味覚、嗅覚などの化学受容器について理解する。	(予習)教科書p.92~105を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	循環器系 心臓の刺激伝達系と心機能の調節を学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	心臓の刺激伝達系のしくみと心機能の調節について理解する。	(予習)教科書p.138~141を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	循環器系 心電図が示すものと血圧調節機構を学修	講義 予習 & 復習テスト	心電図が示すものを記憶する。 血圧調節機構を理解する。	(予習)教科書p.145~151を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	呼吸器系 ガス交換の仕組みと呼吸運動の変化を学修	講義 予習 & 復習テスト	ガス交換のメカニズムを理解する。 呼吸運動について理解する。	(予習)教科書p.172~177を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	呼吸器系 呼吸中枢の場所とその調節機構を学修	講義 予習 & 復習テスト	呼吸運動の中枢を覚える。 呼吸中枢の調節機構を理解する。	(予習)教科書p.177～178、127～129を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	泌尿器 尿生成のメカニズムを学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	腎臓での尿生成のメカニズムを理解する。	(予習)教科書p.217～221を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	泌尿器 体液量調節の仕組みを学修	講義 予習 & 復習テスト	体液量の調節方法を理解する。	(予習)教科書p.221～224を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	血液・リンパ系 血液凝固の仕組みとリンパ系のはたらきを学修	講義 予習 & 復習テスト	止血の3段階を覚え、血液凝固の仕組みを理解する。 リンパ系のはたらきを覚える。	(予習)教科書p.132～133、153～154を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	血液・リンパ系 免疫 自然免疫と獲得免疫の仕組みを学修	講義 予習 & 復習テスト	自然免疫と獲得免疫の仕組みについて違いとそれぞれの特徴を理解する。	(予習)教科書p.154～158を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	血液・リンパ系 免疫 免疫異常(特にアレルギー反応)を学修	講義 予習 & 復習テスト グループ演習	免疫異常、アレルギー反応のしくみや種類を理解する。	(予習)教科書p.158～162、17～21を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	体温調節の仕組みとエネルギー産生機構を学修 作成した演習問題の解説をグループで発表	講義 予習 & 復習テスト グループ発表	体温調節機構を説明できる。エネルギー産生の用語を理解する。 グループで作成した演習問題を分かりやすく解説する。	(予習)教科書p.205～211を読み、課題を行う。 (復習)授業での疑問点を調べ、演習問題を作成する。授業後テストの直しをする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力